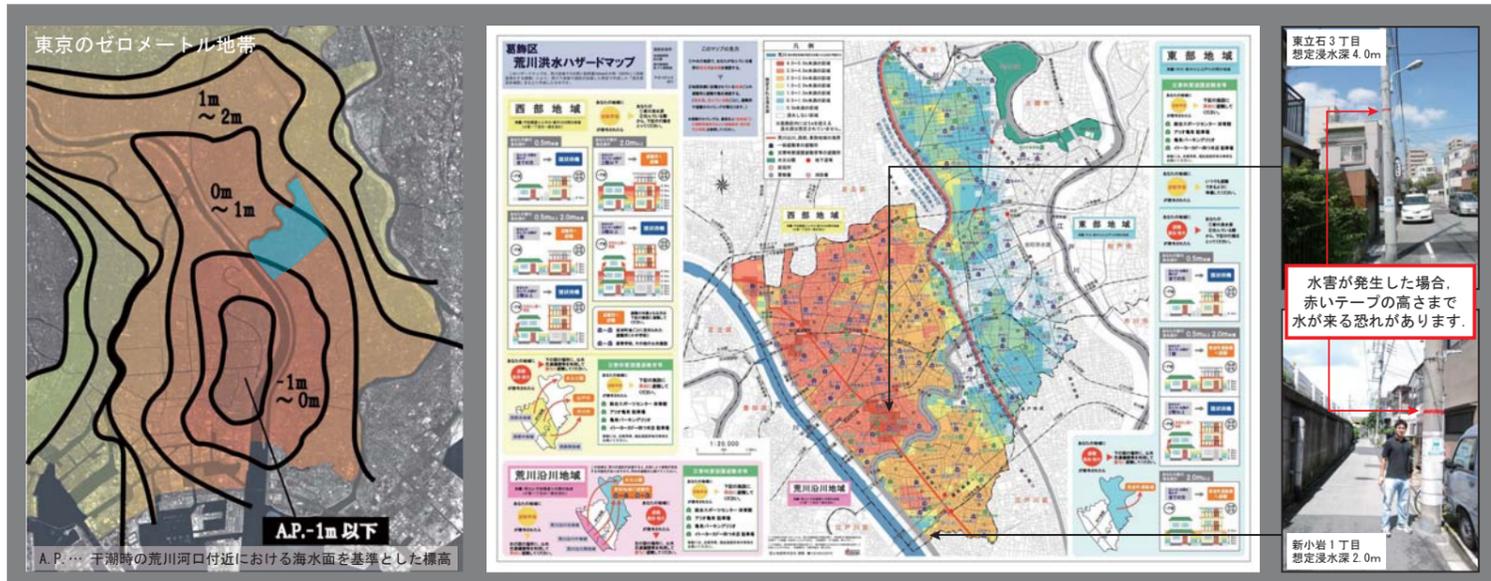


NPO ア！安全・快適街づくり + 広域ゼロメートル市街地研究会

東京の「広域ゼロメートル市街地」～恵みと脅威～

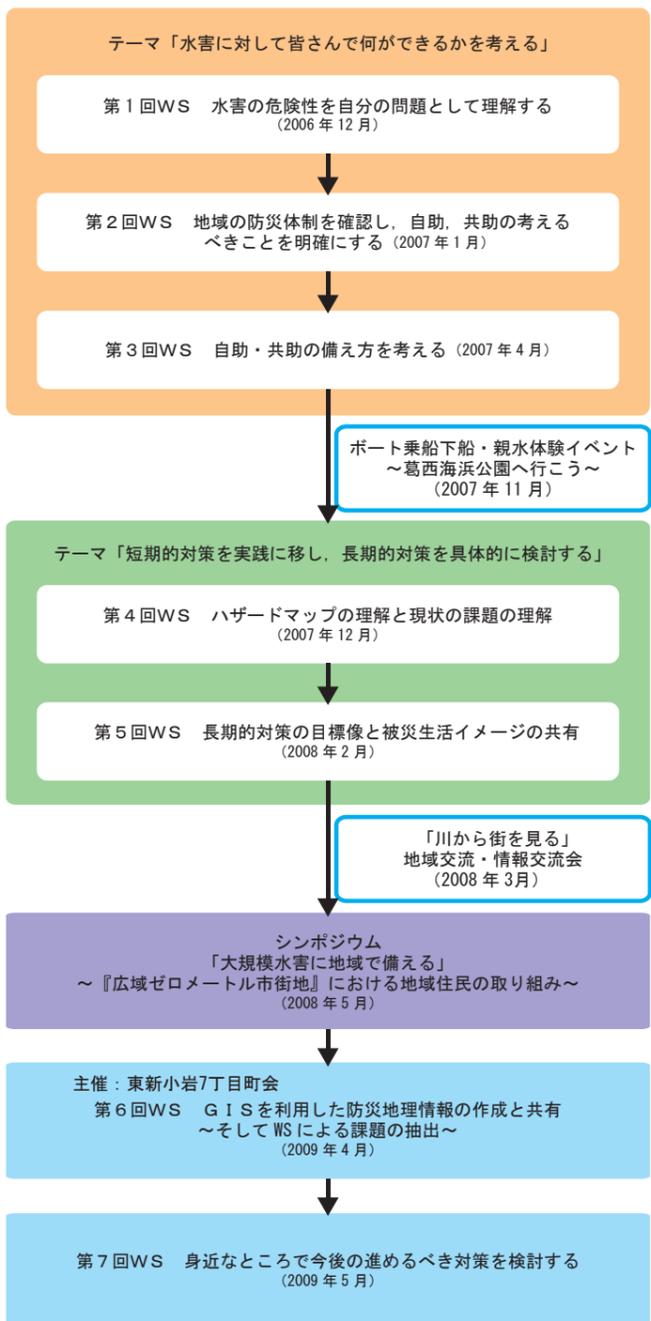
東京には、地下水の過剰な汲み上げに伴う地盤沈下によって水面下となった高密、広域の市街地（「広域ゼロメートル市街地」）があります。葛飾区、江戸川区を始めとする「広域ゼロメートル市街地」において大規模水害が発生した場合、大きな被害が生じることが予想されます。さらに、近年地球規模の気候変動の影響により、そのリスクは徐々に高まっています。

我々、「ア！安全快適まちづくり」と「広域ゼロメートル市街地研究会」は、地域の方とともに広域ゼロメートル市街地における大規模災害への備え方を検討しています。同時に、川を脅威とみなすだけでなく、市街地の魅力を高めるポテンシャルを秘めた資源としてとらえ、将来のあるべき市街地像についても議論を行っています。



これまでの取り組み

葛飾区新小岩北地区では、「自助・共助による水害への備え」、「将来の市街地像のあり方」をテーマに専門家（広域ゼロメートル市街地研究会）、NPO、地域の連合町会の3者が一体となって議論を進めて参りました。平成18年度から合計7回のワークショップ（WS）、ボート乗下船や川から街をみるといったイベントを積み重ね、地域として取り組むべき対策について検討を行って参りました。



地域 ～新小岩北地区 地域の底力～

葛飾区新小岩北地区において、これまで活動を行って参りましたが、ワークショップの回数を重ねるに連れて、地域の方が自分たちの町会で独自の訓練を行ったり、ワークショップの中でも中心的な役割を担い、議論が主導されるようになってきています。ここでは、地域の方が中心となって行われている取り組みを紹介いたします。

新小岩北地区のある町会の水害時避難訓練の事例

新小岩北地区のある町会では、これまでのワークショップに参加してきた方が中心となって、水害が発生した場合を想定した避難訓練を行いました。ハザードマップに示されている避難場所まで避難する訓練で、このような訓練は葛飾区内でも初めての取り組みであったようです。



避難訓練実施のニュース

そして、訓練の様子をニュースにまとめ、町内に回覧することで、町内での情報の共有にも取り組んでいます。

第6回WS「GISを利用した防災情報の作成と共有」

(主催：東新小岩7丁目町会)
2009年4月に行われたワークショップは、一連の取り組みの中で初めて町会の主催により行われました。町会の方が事前に講習を受けた上で、GISを利用して、水害発生時に想定される地域の被災状況を説明しました。地域のことを良く知っている人ならではの語りとGISが組み合わせられた非常にわかりやすい説明が印象的でした。この説明のあと、参加者たちもGISを使いながら、水害に対して何ができるかを議論しました。



第6回WSの様子

東京都「地域の底力再生事業助成」対象団体への採択

この助成事業は、町会・自治会が行う地域の課題を解決するための先駆的な取組や地域の活力を増進し、住民相互の「共助」を推進する事業に対して、東京都が助成金を交付するものです。

新小岩北地区連合町会は2009年度の助成事業対象団体に採択されました。2009年11月に「葛飾区荒川洪水ハザードマップ」に基づく荒川の水害を想定した避難訓練、及び避難生活に備えた炊き出し訓練を実施する予定です。

